# 備前市事務事業評価シート

（平成21年度事業）

## 事業の概要

| 事業開始年度 | | | S46～ | 根拠法令・例規等 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 総合計画 大項目 | 基本目標 | 04 | もてなしの心とたくましさのあるまちづくり | | |
| 総合計画 中項目 | 基本施策 | 03 | 個性あふれる観光のまちづくり | 問合先 担当課（室） | 商工観光課 |
| 総合計画 小項目 | 施策 | 01 | 観光 | 問合先 職・氏名 | 観光係長　高橋　幸子 |
| 事務事業名 | | 05 | 観光施設整備事業 | 問合先 電話 | 64－1832（274） |
| | | | | このシート作成に要した時間 | 7.0 時間 |

## 事業の目的

| | |
|---|---|
| 対象（誰・何に対して） | 観光客 |
| 目的（何のために） | 観光資源を活かすために、有効な観光施設を整備し誘客を図る。 |
| 事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか） | 観光施設の環境整備 |

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

## 事業の実績

目的を達成するため実施した事業

| 細事業名 | 事業の説明 | 優先度 |
|---|---|---|
| 夕立受山等整備事業 | 既存、新規の観光施設の整備等。今年度は伝統産業会館２階内装改修工事７，５５２，６５０円の実施（７０％５，２８６，８５５円を備前焼陶友会より寄付として採納） | ◎ |
| 海水浴場整備事業 | 頭島外輪、大多府島宮ノ下、鴻島亀の浦海水浴場の砂浜を敷き均し、観光客、地域住民にきれいな海水浴場で楽しんでいただくため。 | ○ |

## 事業費等

| 決算額 | | 単位 | 平成19年度実績 | 平成20年度実績 | 平成21年度実績 |
|---|---|---|---|---|---|
| 事業費 | 直接事業費 | 千円 | 598 | 556 | 8,838 |
| 事業費 | 必要人員 人件費 | 千円 | 0.06人 465 | 0.05人 475 | 0.04人 384 |
| 事業費 | 事業費計 | 千円 | 1,063 | 1,031 | 9,222 |
| 財源 | 国県支出金 | 千円 | | | |
| 財源 | 受益者負担 | 千円 | | | |
| 財源 | 繰入金 | 千円 | | | |
| 財源 | 市債 | 千円 | | | |
| 財源 | その他（寄付採納） | 千円 | | | 5,286 |
| 財源 | 一般財源 | 千円 | 1,063 | 1,031 | 3,936 |
| 受益者負担比率 | | % | － | － | － |

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

## 結果指標

| 結果指標名 | 単位 | 平成19年度実績 | 平成20年度実績 | 平成21年度実績 |
|---|---|---|---|---|
| 観光施設整備箇所数 | 説明 | | | |
| 結果指標量 | 箇所 | 3 | 3 | 1 |
| 対前年比 | % | － | 100.0% | 33.3% |
| 活動コスト | 円 | 1,063,000 | 1,021,000 | 9,263,000 |
| 単位当たりコスト | 円 | 354,333 | 340,333 | 9,263,000 |

## 事業の成果

| 成果指標名 | 年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度目標値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観光施設整備箇所数 | 目標値（A） | 1以上 | 1以上 | 1以上 | 1以上 |
| | 実績値（B） | 3 | 3 | 1 | 到達目標値 |
| | 達成率（B/A） | #VALUE! | #VALUE! | #VALUE! | 適正年度 |

成果指標設定の考え方・式や説明：観光施設の適正な整備

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい

## 事務事業の評価

### 妥当性の評価

市の関与の妥当性・必要性

- ☐ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- ☐ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- ☐ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- ☐ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- ☐ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ☐ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- ☐ 事業開始当初の目的から変化してきている
- ☐ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- ☑ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ

- ☐ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価 <A～E>：C

### 効率性の評価

コスト手段

- ☑ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- ☐ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- ☐ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ☐ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- ☐ 受益者負担率は適正である
- ☐ 受益者負担率を見直す余地がある
- ☐ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- ☐ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ☐ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価 <A～E>：C

### 有効性の評価

目的達成度

- ☐ 成果指標の設定は適切である
- ☐ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- ☐ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- ☐ 成果指標達成率は80%未満となっている
- ☐ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない

市民参画度

- ☐ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- ☐ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- ☐ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価 <A～E>：C

## 進行年度（H22年度）の改革改善内容

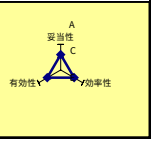
| 状況 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止 | 廃止・完了 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ○ | | | | | | |

説明：費用対効果を考えながら、計画的に事業を進めて行く必要がある。

## 総合評価

観光資源を有効に生かすため、施設整備を図り誘客に結びつけることが重要である。施設整備は計画性を持って年次的に進めて現状維持以上に保つ必要がある。

評価区分 <A～E>：C




## 平成23年度の方向性 及び 取組目標

| 方向性 | 拡充 | 現状継続 | 見直し | 縮小 | 整理統合 | 休止 | 廃止・完了 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ○ | | | | | | |

取組目標：施設整備は年次的に進める必要がある。